

夏の畑

6月になり、梅雨になったと思ったら、雨があまり降らないうちに梅雨明けとなってしまいました。今、畑では、初夏から夏にかけて収穫する野菜と一緒に、秋・冬用の野菜の種まきや植える場所の準備が始まっています。

葉茎菜類	
キャベツ類	今年は、途中で乾燥気味になったのか、カルシウム欠乏のような症状が出て、葉先が茶色く変色しているものがあります。傷んだ部分がなくなるまで剥いて出荷しています。 秋に収穫できるように、7月中の種まきを予定しています。
ネギ	秋から収穫の予定ですが、九条ネギにはさび病が発生して、生育が遅れています。枯れてしまわないように、有機農産物栽培にも使える炭酸水素カリウムを主成分とした殺菌剤を散布する予定です。
果菜類	
ピーマン・カラーピーマン	以前は露地で作っていたのですが、虫による食害と雨による傷みがひどいので、最近ではハウスの中で作っています。ピーマンは、形・大きさの異なる3種類、カラーピーマンは2種類、それぞれ赤と黄を育てています。
ズッキーニ	5月下旬から収穫が始まりました。雨に当たると、傷みやすいので、ハウスの中で緑と黄の2品種を作っています。夏野菜のイメージがありますが、盛夏の暑さは苦手で、収穫量が少なくなります。
オクラ	アフリカ北東部が原産地の、アオイ科トロロアオイ属の植物で、その果実を食用にします。果実の形状によって、「五角種」「丸さや種」「多角種」などに分類されますが、私たちは沖縄で作られてきた丸さやの在来種「島オクラ」を自家採種して育てています。
ナス類	インド原産のナス科ナス属の植物です。世界中で栽培され、多くの種類があります。中長茄子(筑陽)、米ナス(くろわし)、白ナス(白長茄子)の3種類を作っています。
キュウリ	6月末から収穫が始まりました。品種を継いで9月頃まで収穫です。
スイートコーン	露地で作ると、狸がやってきて収穫間際の実を食べてしまうので、ハウスの中で少量を作ります。7月に種まきをして、9月頃から収穫になります。
コリンキー・韓国カボチャ	どちらも、熟す前の未熟果を食べるカボチャの仲間です。6月後半から収穫が始まりました。
ミニトマト	赤と紫のミニトマトと、調理用の小さいトマトを作っています。
豆類	
モロッコ豆	平さやのインゲン豆。豆が膨らんできたところに収穫します。
ささげ	緑と紫の2種類。暑さに強く、盛夏でも収穫できます。
落花生	まだ株が大きくなっていませんが、花が咲き始めました。収穫は11月頃。
根菜類	
人参	露地の畑では、シカやイノシシに食べられてしまうので、ハウスの中で少量作っています。1月に種を蒔いたものを、現在収穫中です。
里芋	土垂、石川早生、八つ頭の3種類を作っています。11月～12月に収穫し、地中に保管して来春まで順次出荷します。
ゴボウ	ユーラシア大陸原産のキク科ゴボウ属の野菜です。私たちが作っている大浦太ゴボウは、大きなものは直径10cmほどになり、内側が空洞になるのが大きな特徴です。肉質はやわらかく、一般的なごぼうに比べると繊維質は少なめです。調理法としては煮物が定番で、しっかり煮込むことによりソフトな食感になります。収穫は間引きゴボウが7月ごろ、ゴボウとしては9月頃からになります。
ピーツ	ヒユ科アカザ亜科フダンソウ属の二年生の植物で、テンサイ(甜菜)の仲間です。赤色が濃く、加熱してサラダなどに入れるときれいです。赤色のほかに、白色や黄色の品種もあります。
パースニップ	人参と同じセリ科アメリカボウフウ属のヨーロッパ原産の野菜。シロニンジン、サトウニンジンとも呼ばれます。煮崩れしにくいので、煮込み料理に向いています。人参のような香りがあり、おいしいです。



ピーマン



ズッキーニ



オクラ



ナス



ミニトマト



モロッコ豆